

# IGF 2025 MAG 会議

2025年10月1日 | 11:00 UTC | オンライン

## 1. 事務局からの最新情報

- IGF事務局は、NRIと連携し、その活動様式と影響に関する調査と情報収集を進めている。
- IGF事務局は、10月に中国・復旦大学で開催されるアジア・ヨーロッパ財団イノベーションラボ会議に参加する。
- IGF事務局は、APrIGFを支援し、仮想地域議会トラックセッションとIGFユーストラックの一環としての能力開発ワークショップを共催した。
- ウェブサイト強化の継続的取り組みの一環として、IGF事務局は検索機能の統合・改善に向けたAIツールの検討を進めている。
- IGFリーダーシップパネル(LP)議長であるVint Cerf氏と、GIZ経営委員会副議長のIngrid-Gabriela Hoven氏との対談記事が先週公開された。

## 2. WSIS+20非公式マルチステークホルダー・サウンディングボード(IMSBB)からの最新情報

- IMSBBの代表者2名は9月25日、WSIS+20レビューのゼロドラフトに関するアフリカ関係者協議を主催した。
- 今週初め、IMSBBはOHCHR(国連人権高等弁務官事務所)及びスイス政府の代表者と会合した。
- 10月27日及び28日にダブリンで開催されるICANN会議において、加盟国及びその他の関係者との協議が行われる。
- IMSBBは10月3日までに共同ファシリテーターへ具体的な文案を提出予定。  
→ IMSBBはMAGメンバーに対し、10月13日または14日のWSIS+20ステークホルダー協議セッションへの登録を10月3日までに完了し、12月16-17日にニューヨークで開催される国連総会ハイレベル会合への登録準備を進めるよう促した。

## 3. 将来のMAG長期作業方法の合理化に向けた作業計画

- 段階的アプローチを採用し、まずMAGの作業方法を見直すことが提案された
- 具体的には、以下の事項が議論された:
  - 新規MAGメンバー向けガイドライン文書の作成(期待事項、任務、役割、責任を含む)
  - 作業方法の改善に関するIGFステークホルダーとのMAGウェビナーシリーズの開催を検討

- 事務総長・事務局と協力し、IGFの運営方法と調整プロセスを改善するための作業方法の検討
- NRIとの連携として、NRIからMAG連絡担当者を任命するか、MAGメンバーがNRI・開発途上国(DC)との連絡役を務め調整会議に参加する方策の検討
- 人工知能ガバナンスに関するグローバル対話(Global Dialogue on AI Governance)等の他国連機関との連絡窓口設置の提案

MAGの権限範囲外となる決定事項の一例として、IGF開催国の選定が挙げられる

#### 4. MAG作業部会およびIGF会期間の作業に関する最新情報

- ワークショッププロセス作業部会(WG-WSP): WG-WSPは、セッションの提出および選考プロセスに関する作業方法の改善について議論し、提案を行う用意がある
- 人工知能政策ネットワーク(PNAI): PNAIは月曜日に電話会議を実施し、報告書作成を継続中。ネットワークがIGFエコシステム及びその外でより有意義に貢献する方法を模索している。過去2年間のメッセージを統合中
- インターネット分断化政策ネットワーク(PNIF): PNIFは火曜日に会議を開催し、技術コミュニティの関与(MAGからの講演者を含む)を議論。
- サイバーセキュリティベストプラクティスフォーラム(BPF): 3重点分野を策定中であり、詳細な概念を最終報告書に盛り込む予定。

#### NRI

- IGF事務局は現在、NRIsマルチステークホルダー運営委員会から作業方法とNRI内部構造の改善に向けた意見収集を実施中。

意見はNRIsが開発したボトムアップ調査を通じて収集され、2026年初頭、NRIsは調査結果に基づき2016年版ツールキットの見直しを行う。

# IGF 2025 MAG 会議

2025年10月22日 | 14:00 UTC | オンライン

## 1. 事務局からの最新情報

- NRIは、活動方法と影響に関する情報を収集するための調査に回答。結果は来週中にIGF事務局より共有される。
- IGF事務局は、IGF Youth Trackの新たな連絡窓口としてハーマン・ヨハンセンを任命。
- IGFウェブサイトの情報検索を迅速化し、新検索機能が追加された。MAGメンバーは同サイトの活用を推奨する。
- 参加希望者は、12月に開催される地域別議会トラック(Parliamentary Track)の登録が可能。
- IGF事務局は、12月に開催される国連総会WSIS+20ハイレベル会合の登録リンクおよびサイドイベント提出フォームについてMAGの注意を喚起した。
- 関心のある参加者は、11月3日・4日にLACIGFと並行して開催される地域議会トラックに登録できる。

## 2. WSIS+20非公式マルチステークホルダー諮問委員会(IMSBI)からの最新情報

- IMSBIメンバーは10月13日・14日に開催されたWSIS+20成果文書ゼロ草案に関する仮想ステークホルダー協議に参加。
  - ステークホルダーの意見観察と自らが提唱する見解の紹介を実施。
  - IMSBIメンバーはまた、10月15日にニューヨーク国連本部で開催された第2回準備会合および10月16日・17日の非公式加盟国協議にもオブザーバーとして参加した。
- 次回のIMSBI会合は、ICANN会合と並行して10月27日にダブリンでハイブリッド形式で開催される。
- 成果文書草案の作成段階において、IMSBIは引き続き共同ファシリテーターおよびWSIS+20事務局を支援し、合意点と相違点の特定を行う。

## 3. MAGの将来に向けた作業方法の合理化に関するMAGの最新情報

- MAGは引き続き作業方法の改善を提案。具体的には以下の点が議論された：
  - プログラムの合理化、テーマ数の絞り込み、各種セッションと会期間の作業間の一貫性向上を提案。IGFの独自性と包括性を踏まえつつ、プログラム形式と実行可能な成果・アウトプットの全面的な再設計を検討可能。

- ステークホルダーとの協議セッションを増やし、プログラム及び会期間の作業においてIGFコミュニティのニーズをより適切に反映させることへの強い支持があった。
- プログラムに対する代替的・革新的な変更案として、具体的なプロジェクトを紹介する「ラボセッション」、セッションの質をより適切にモニタリングする仕組み、提案者に個別のワークショップ実施ではなく広範なトピックでの協働を求める新たなアプローチなどが挙げられた。
- 新規参加者とのコミュニケーション改善も必要であり、MAGはワークショップ主催者向けの(必須)トレーニング実施を検討できる。
- 提案の募集方法を見直し、具体的な質問を提示することで提案を適切に導き、重要または新興課題を特定しやすくする案も出された。
- IGF新規参加者とのコミュニケーションも改善すべきであり、MAGはワークショップ主催者向け(必須)トレーニングの実施を検討できる。
- 提案を導き重要な新興課題を特定するため、具体的な質問を提示する形で意見募集の再構築が提案された。異なる対象ステークホルダーグループ向けの焦点を絞ったワークショップの開催、MAGメンバーをコミュニティ連絡担当者に指定すること、地域IGFを活用して幅広い意見を集める可能性についても議論した。
- IGFセッション提案の募集に関しては、マルチステークホルダーの要件を見直すことが提案された。
- MAGワークショッププロセス作業部会(WG)の共同ファシリテーターは、ワークショップ選定やセッション構成を含むIGFプロセスの改善提案を盛り込んだ草案文書を共有し、MAGメンバーにフィードバックを求める予定である。
- MAG議長は、具体的なプログラム改善のみを議題とする別途の電話会議開催を提案した。

## 4. MAG作業部会、IGF会期間の作業、NRIからの最新情報

### 多言語化作業部会(WG-Multilingual)

- 全MAG会議記録の中国語訳が利用可能。
- 共同ファシリテーターは、文書を他の言語へ翻訳するボランティアを募った。

### 人工知能政策ネットワーク(PNAI)

- PNAI政策ブリーフ報告書の草案版がこちらで公開され、コミュニティに意見募集のため共有された。

### インターネット分断化政策ネットワーク(PNIF)

- PNIFは10月16日にウェビナーを開催し、報告書草案を公開した。

## サイバーセキュリティベストプラクティスフォーラム(BPF)

- BPFは、緊急メカニズム、規範的議論、紛争・危機状況におけるマルチステークホルダーコミュニティの役割と限界の3つの重点分野を特定した。

## 有意義なアクセスに関する政策ネットワーク(PNMA)

- MAGメンバーはPNMAの新しいIGFウェブページを閲覧できる。

## ダイナミック・コアリション(DCs)

DCをIGFプロセスに統合する取り組みとして、調整グループはMAG議長に対し、MAG会議に出席するDCボランティア2名の任命を提案した。これらのボランティア(DCの活動的なメンバー)は、DC調整グループの共同ファシリテーターに加え、連絡役として活動する。

- 過去の慣例に従い、MAGメンバー1名をDC連絡役として任命し、DCの定例会議に出席させることも可能とした。

## NRIs

- 来週までに、IGF事務局はNRIsマルチステークホルダー組織委員会から専用調査を通じて得られた意見分析を行い、NRIsの作業方法と内部構造の改善を支援する。

## 5. その他

- IGF事務局は、次回の会議についてメールでMAGメンバーに通知する。

>>次回は11月18日に決定